

福井県のいちほまれ(5月中旬植え)では、例年6月中下旬頃が中干しの時期にあたり、それを見据えた水管理を行う必要があります。本年の北陸地方の梅雨入りは6月20日頃と遅い予想がされており、ちょうどいちほまれの中干しの時期に重なってきます。いちほまれは分げつが止まりにくい品種であるため、茎数をよく確認し中干しのタイミングを逃がさないよう注意しましょう。

1. JA生育調査状況(6月10日現在)

①JA全体(移植)

年度	移植日 (平均)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色
R8	5/20	29.8	194.0	4.1
R7	5/18	27.0	206.0	3.9

【前年比】

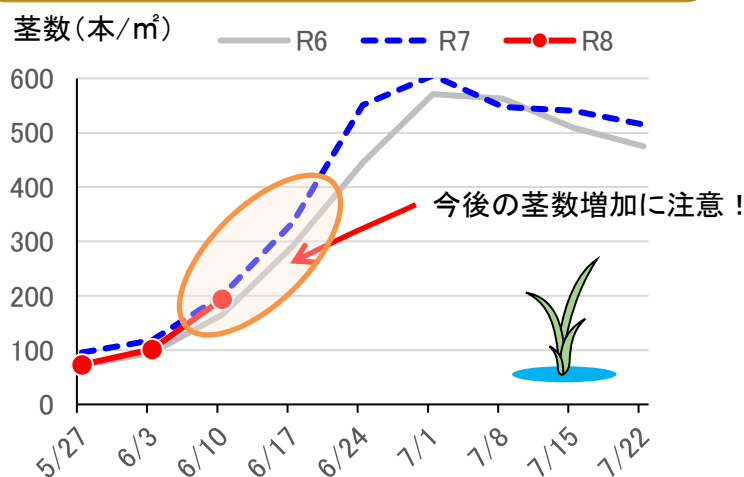
■草丈: やや長い ■茎数: やや少ない ■葉色: 濃い

② 気象状況: 6月4日～10日(平年比)

- 平均気温 : 並み
- 降水量 : 並み
- 日照量 : 寡少(▲1.4時間/日)

③ いちほまれの生育状況は、5月の気温が平年より高く、概ね順調です。浅水管理により茎数確保に努め目標茎数確保後は速やかに中干しを開始しましょう。

2. 茎数の推移について(6月10日現在)



坂井農場(5/15移植)

■中干し開始の目安

中干しの開始目安は400本/㎡になります。

- 60株植えの場合、22本/株
- 50株植えの場合、27本/株
- 直播の場合、350本/㎡

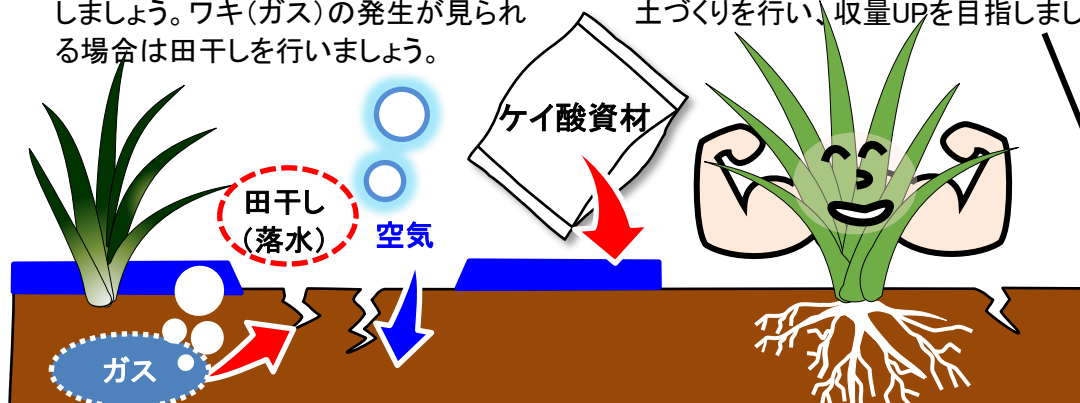
3. 今後のいちほまれ栽培のポイント

①浅水管理

中干し開始までは、浅水で茎数を促進しましょう。ワキ(ガス)の発生が見られる場合は田干しを行いましょう。

②ケイ酸資材を施用(6月の中間肥)

ケイ酸は一括肥料や稲ワラのすき込みでは補充できない成分です。土づくりを行い、収量UPを目指しましょう。



【ケイ酸の効果】

- ①根張りの向上
- ②登熟歩合の向上
- ③倒伏軽減

【ケイ酸資材】

資材名	施用量(10a)
ファイトアップ	500g
カリ投げくん	4kg
ケイ酸加里	20kg
ケイカル	40kg

ブランド米「いちほまれ」のお問い合わせは、各地区担当営農指導員までお願いします。